

I 調査結果の概要

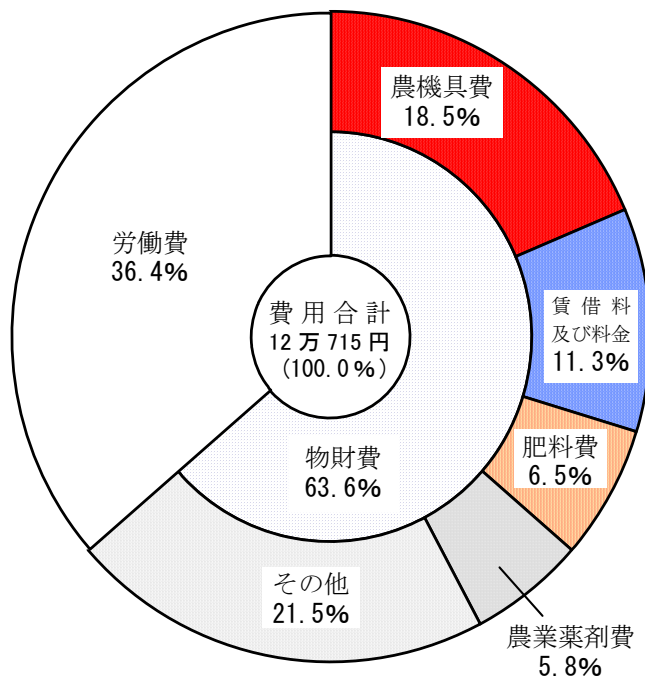
1 平成17年産米生産費

図1 主要費目の構成割合（10a当たり）

(1) 米の10a当たり資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」という。）は14万6,687円で、前年に比べ1.0%減少し、60kg当たり全算入生産費は1万6,750円で、前年に比べ2.6%減少した。

(2) 10a当たり全算入生産費が減少したのは、原油価格の高騰による光熱動力費の増加、作業委託の進展による賃借料及び料金等の増加があったものの、収穫時期が好天に恵まれ作業効率が向上し、労働費が減少したこと等による。

(3) 10a当たり粗収益は、収量が増加したものの、価格が低下したことにより前年に比べ1.8%減少し、11万6,382円となった。



第1表 米の生産費及び収益性

区分	10 a 当たり		60 kg 当たり	
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率
	円	%	円	%
生産費				
物財費	76,831	△ 0.3	8,773	△ 1.9
労働費	43,884	△ 3.4	5,012	△ 5.0
費用合計	120,715	△ 1.4	13,785	△ 3.1
生産費（副産物価額差引）	118,594	△ 0.8	13,543	△ 2.4
費				
支払利子・地代算入生産費	123,284	△ 0.9	14,078	△ 2.6
資本利子・地代全額算入生産費	146,687	△ 1.0	16,750	△ 2.6
収				
粗				
量	524 kg	1.4	-	-
粗				
収	116,382	△ 1.8	-	-

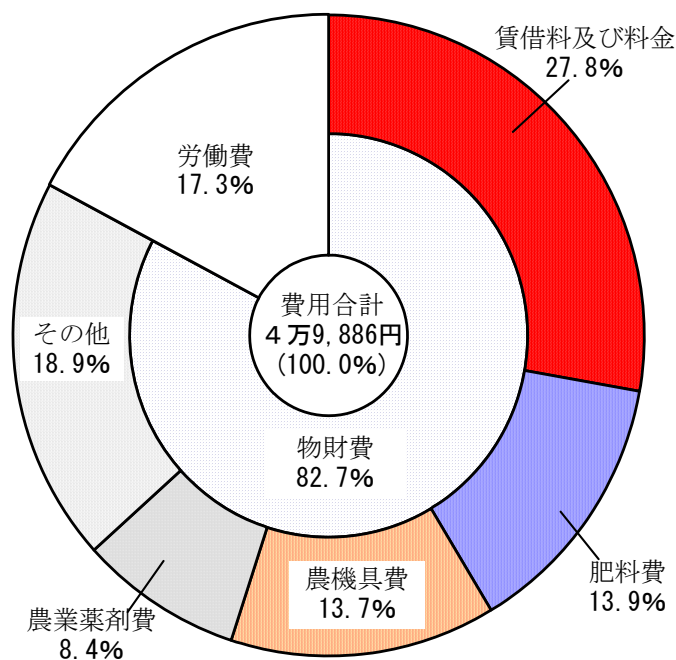
2 平成17年産小麦生産費

図2 主要費目の構成割合（10a当たり）

(1) 小麦の10a当たり全算入生産費は6万941円で、前年産に比べ1.0%減少し、60kg当たり全算入生産費は8,256円で、前年産に比べ1.8%減少した。

(2) 10a当たり全算入生産費が減少したのは、光熱動力費や農業薬剤費等が増加したものの、規模の拡大等により、農機具の効率的な利用や作業の効率化が図られ、農機具費や労働費が減少したこと等による。

(3) 10a当たり粗収益は、収量が増加したものの、価格が低下したことにより前年に比べ1.1%減少し、6万614円となった。



第2表 小麦の生産費及び収益性

区分	10 a 当たり		60 kg 当たり		
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率	
	円	%	円	%	
生産費	物財費	41 280	△ 0.3	5 590	△ 1.1
	労働費	8 606	△ 1.1	1 167	△ 1.9
	費用合計	49 886	△ 0.4	6 757	△ 1.3
	生産費（副産物価額差引）	47 990	△ 0.9	6 501	△ 1.8
	支払利子・地代算入生産費	51 795	△ 1.0	7 017	△ 1.8
	資本利子・地代全額算入生産費	60 941	△ 1.0	8 256	△ 1.8
粗収	収量	441 kg	0.5	-	-
	収益	60 614	△ 1.1	-	-